

本気じゃなかったはずの一台が、
気づけば日常を変えていた。
小さなオープンカーが連れてきた、
大きな笑顔の物語。



クルマに乗る理由が、
変わった

コペンに乗り始めてから、カーライフの風景は一変した。

これまでは「用事があるからクルマに乗る」ものだったのが、今では「ただ走りたくて出かける」ことが増えたという。

「特別な目的がなくても、奥さんとふらっとドライブに行くようになりましてね」

屋根を開け、風を感じながら走る。それだけで、いつもの道が少し違って見える。

コペンは、日常の中に小さな、非日常、を差し込んでくれる存在だった。



狭いからこそ、生まれた距離

軽のオープンカーということでも、車内は決して広くはない。

だが、その「狭さ」が、思いがけない変化をもたらした。「娘から、最近よく喋るようになったね、って言われたんです」

自然と会話が増え、気づけば家族の距離が縮まっていた。

コペンは、ただ人を運ぶだけでなく、家族の時間までも運んでくれたのだ。

楽しくてしょうがない、
という答え

改めてコペン GR SPORTを一言で表すなら？

そう聞くと、がみゆーさんは迷わずこう答えてくれた。

「楽しくてしょうがないクルマ、ですね。今まで何気なく走っていたくねくね道が、すごく楽しく感じるようになりました」

奥様の新たな一面を知れたのも、このクルマのおかげ。

そして今は、さらなる楽しさを求めてパワーアップカスタムも検討中だという。

「ハイオク化もOKって、奥さんからも好感触でした(笑)」

オープンにして風を感じながら走るコペンは、もはや単なる移動手段ではない。家族との時間、笑顔、会話、そしてクルマを操る楽しさ。

そのすべてを、軽やかに、爽やかに運んでくれる一台。

「冗談」から始まったはずの相棒は、気づけば、かけがえのない存在になっていた。

/ COPEN GR SPORT

“冗談”から始まった、最高に楽しいカーライフ

— がみゆーさんと×コペン GR SPORT

— Profile

実用性重視の車選びから一転、憧れのコペンGR SPORTを手に入れたオーナー。軽快な走りとおープンカーの開放感で、家族との会話が増え、カーライフがより楽しいものに。現在はパワーアップカスタムも検討し、新たなドライブの楽しさを追求している。



EDITOR'S Note
編集後記

冗談のつもりで候補に入れた一台が、ここまで日常を変える。がみゆーさんのストーリーは、クルマ選びにおける「楽しさ」の大切さを改めて教えてくれた。

実用性だけなら別の答えもあったはず。それでもコペンを選んだことで、ふらっと出かける回数が増え、夫婦の会話が増え、家族の時間まで少しずつ豊かになっていく。スペックだけでは測れない価値が、確かにここにある。

取材中、何気ないエピソードを話すたびに、がみゆーさんの表情がふっとやわらかくなるのが印象的だった。きっとコペンは、走りの楽しさだけでなく「家族の空気」まで軽やかにしてくれる存在なのだろう。

コペンGR SPORTは人と人との距離を縮め、毎日を少しだけ特別にしてくれるクルマなのだ。

冗談だったはずの一台が、
毎日を変えた。

「いや、まさか本当に買うことになるとは…」

そう笑いながら語ってくれたのは、コペンGR SPORTのオーナー・がみゆーさん。

物語の始まりは、あくまで「冗談」だった。

当時検討していたのは、実用性の高いスライドドアの軽自動車。家族で使うことを考えれば、現実的な選択はほぼ決まっていたはずだった。

それでも、心の奥にずっと引っかかっていた存在がある。

小さなボディにオープン機構を備えた、あの軽スポーツ——コペンだ。

「本音では気になってたんです。でも、ちょっと言い出しにくくて(笑)。だから、冗談枠として候補に入れました」

ところが、その冗談に意外な追い風が吹く。

背中を押してくれたのは、奥様だった。

「まさか、あそこまでクルマが好きだったなんて…正直びっくりしましたよ」

こうして始まった、がみゆーさんとコペンGR SPORTのカーライフ。

それは想像以上に、日常を変えていくことになる。

